

厚塗下地調整・補修材（3～10 mm）

JIS A 6916 CM-2 表示認証製品

ベース#40

【施工要領書】

平成29年3月8日



二瀬窯業株式会社

用 途

適応下地 コンクリート、PC板、ブロック、ALCパネル 等

不陸調整 塗厚3～10mmの下地調整及び補修材

タイル下地 塗厚3～10mm

※ALCパネル下地の場合は総塗厚を6mm以下として下さい。

施工手順

1. 下地の確認

- (1) 下地との接着性を確保するため、カップリングや高圧洗浄により目荒しを行って下さい。
- (2) 下地面の突起物、レイトンス、硬化不良などによる脆弱部分、型枠離型剤などの油脂分は、サンダー、ケレン棒又は、ワイヤーブラシ等で除去し、水洗いを行って下さい。
- (3) 極端な不陸・ジャンカ・豆板・大きなひび割れ・大きな気泡穴・破損部分等は予めポリマーセメントモルタルにて補修を行ってください。
※補修した際には、24時間以上養生を行って下さい。
- (4) 露出した鉄筋・番線・釘等は錆を除去した後、防錆処理して下さい。

2. 吸水調整

- (1) 下地の清掃が終わった後、ユニレックス3の3倍希釈液にて吸水調整を行って下さい。下地表面が乾燥した後、ベース#40の施工に移って下さい。目安としては4時間以上です。

※ALC板など下地の吸水が大きい場合には、ユニレックス3の5倍希釈液を塗布した後、乾燥後もう一度ユニレックス3の5倍希釈液を塗布して下さい。

【希釈配合】

3倍希釈液…ユニレックス3	1L	+	清水	2L
---------------	----	---	----	----

ユニレックス3 270m²/缶 (18L/缶)

5倍希釈液…ユニレックス3	1L	+	清水	4L
---------------	----	---	----	----

ユニレックス3 300m²/缶 (2回塗・18L/缶)

3. 材料の混練

- (1) ベース#40を1袋(25kg)に規定量の水道水を加えてハンドミキサー等で混ざりムラのないよう均一に練り混ぜてください。

調合…ベース#40 25kg + 清水 4.7~5.0L

ベース#40 約3.1m²(塗厚5mm時)

4. 塗り付け

- (1) 施工面に対してコテ圧を十分にかけるがらしごき塗りを行ってください。
- (2) しごき塗りした後、追っかけにて所定の厚みまで塗り付けてください。
- (3) 標準仕様塗厚(3~10mm)を超える場合には、2回以上に分けて塗りつけてください。その際、次工程までの養生期間は、3日以上としてください。
- また、ベース#40での全面施工の場合には、1回の塗り厚は8mm以下としてください。

5. 仕上げ

- (1) 仕上げ施工に応じて、定木ずり、木ゴテ等で仕上げてください。
- (2) 定木ずりを行なう場合は、定木は下から上へ送るようにしてください。
- ※ 水を使用しての仕上げは行なわないでください。

6. 養生

- (1) 塗り付け後に、降雨雪の恐れのある場合、または、通風・日照の激しいときはシート掛け等の保護養生を行ってください。
- (2) 夏場施工の際には、ベース#40の塗り付け翌日以降に散水養生を行ってください。
- (3) 塗り付け後の養生期間は夏季7日以上、冬季14日以上とし、その後、次工程に移ってください。

注意事項

1. 寒冷期、気温が3℃以下及び3℃以下になると予想される場合は、原則として施工は行わないでください。
2. 直射日光・風雨時には、シート掛け等十分な養生をしてください。
3. ベース#40の保管は、湿気を避ける場所にしてください。
4. ベース#40には、当社が指定したもの以外のものを混入しないでください。
5. 混練した材料は40分以内に使用してください。
6. 本施工要領書に記載されていること以外は、JASS15左官工事に従って行ってください。